

## パブリックコメントで寄せられた意見の概要及び意見に対する考え方

平成27年2月2日から3月3日までの間、海津市公共交通計画(案)及び海津市生活交通ネットワーク計画(案)についての意見等の募集を行った結果、47人の方から60件の意見をいただきました。これらの意見について適宜要約したうえ、項目ごとに整理し、それに対する考え方を公表します。

### 1. デマンドに関する意見

NO	意見の概要	意見に対する考え方
① 乗降場所について		
1	現在利用が多いオークワ、西美濃厚生病院は市外ですが、歳が行けば増々利用すると思うので設置してほしいです。	デマンド交通の乗降場所は、市内(大須、西小藪含む)としますが、平田方面から共通エリアの養老鉄道「美濃津屋駅」へ行く場合、スーパーセンターオークワ養老店はルート上にあるため、乗降場所として設置できるよう養老町と協議します。 西美濃厚生病院へは、養老鉄道「駒野駅」、名阪近鉄バス「今尾バス停」、海津市コミュニティバス「今尾バス停」で養老町のデマンドを利用し行くことができます。
2	デマンドバスの停留所を市外でもよく使っている。オークワや西美濃厚生病院にお願いしたい。	
3	オークワや西美濃厚生病院へよく行きますので、デマンドバスが止まるようにして下さい。	
4	デマンドバスの停留所を市外にも欲しい。親の年齢を考えると、オークワや西美濃厚生病院は必要と考えます。	
5	市外ですが、よく使うオークワや西美濃厚生病院にもデマンドバスが止まるようお願いしたい。	
6	車の運転が厳しくなると、デマンドバスが必要で。大桑病院やスーパーセンターオークワへよく行きますので、停留所を作って下さい。	
7	スーパーセンターオークワや西美濃厚生病院へよく行くので、デマンドバスが止まるようお願いします。	
8	海津市外にも、利用場所が多いところにデマンドバスの停留所が欲しい。西美濃厚生病院、スーパーセンターオークワ、大桑病院、よろしくお願いします。	
9	デマンドバスの停留所について、利用頻度の高い海津市近隣の海津市外地に設けて下さい。西美濃厚生病院、スーパーセンターオークワ、大桑病院	
10	海津市以外にも、よく使うところにデマンドバスの停留所をつくって下さい。西美濃厚生病院、スーパーセンターオークワ	
11	デマンドバスの停留所を市外地にも増やして下さい。よく利用する、スーパーセンターオークワ、大桑病院、西美濃厚生病院をお願いします。	
12	デマンドバスの停留所、市外をよく利用する場所に設置してほしい。(オークワ、西美濃厚生病院)	
13	駒野新田から、市外でよく行くオークワや西美濃厚生病院を停留所にして下さい。親の年齢を考えると、近い将来大変重要なことです。よろしくお願いします。	
14	城山地区の話し合いで、デマンドバスが市外の利用頻度の高いところ(オークワや大桑病院等)に止まると聞きましたが、反映されていません。ぜひ止めて下さい。	
15	今は自分で車の運転が出来るので、バスに乗らなくても病院や買物が出来ます。自分で運転できなくなった時、近くにバス停があればバスに乗れます。出来れば、住宅の近くにバス停を作って頂くをお願いいたします。せめて住宅地から5～10分位のところであれば、歩いて移動できるので、検討して頂くよう節にお願いします。	デマンド交通の乗降場所は、集会所などにも設置します。地域住民の方のご意見をいただいて設定します。
16	後期高齢者で医師会病院や大垣市民病院、辻中眼科、徳州会病院、私は、医師会病院、たかお眼科、野村クリニック等、又、腰痛で海津温泉へ週1～2回、コミュニティバスを夫婦で利用しています。何かと朝早いと、駒野駅8:24分に乗らないと医師会病院に間に合わない時があります。私の所から朝午前8時に出かけます。年齢ごとに月1回は足腰が弱ってきて大変です。城山支所へぜひ午前8時24分をまわして下さい。バス停を、できたら旧保健センターへ変更してほしいです。旧保健センターの方が、民家があって年齢の方は坂道を昇ってくるのは大変つらいです。又おりのも雨や雪が降ると転びそうになって困っています。旧保健センターだと安全です。	市内の病院などには、デマンドで行くことができるようになりますので、ご利用ください。 (仮称)南幹線の城山支所発については、通学利用を含んで検討しますので、ご要望通りにならないことがあります。その場合は、デマンドでのご利用をお願いします。
17	コミュニティバスが堤防を走っているが、上がるのに不便なため、現在は利用しにくい。梶屋神社北側に駐車場を作ってほしい。堤防下集落の中をバスが走ってほしい。午前二回往復できたらと思いますが、どうでしょうか。市内有料でもよいです。往復1000円位までなら出してもよいと思いますが。	デマンド交通の乗降場所は、堤防下で設定します。
18	目的地に隣接する市町村の病院、ショッピングセンターを加えていただきたい。地区社協による移送実績では、地理的關係もあり通院では、極まれに大垣市民病院もありますが、養老町の西美濃厚生病院、船戸クリニック、買い物はオークワと、目的地の殆どが養老町に集中しています。是非とも、上記のご検討をお願いします。	デマンド交通の乗降場所は、市内(大須、西小藪含む)としますが、平田方面から共通エリアの養老鉄道「美濃津屋駅」へ行く場合、スーパーセンターオークワ養老店はルート上にあるため、乗降場所として設置できるよう養老町と協議します。
19	デマンド運行の南濃エリアとしての要望(上野河戸区) ○運行区域…西美濃厚生病院まで行けるようにしてほしい。 ○乗降場所…上野にも必ず停留所を作ってほしい。 ①寒窓寺、②龍芳寺、③集会所、④西浄寺、⑤谷田消防倉庫	養老鉄道「駒野駅」で養老町のデマンドを利用し養老町の施設等へ行くことができます。 乗降場所は、地域住民の方のご意見をいただいて設定します。

NO	意見の概要	意見に対する考え方
20	<p>オンデマンドバスの停留所についての要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢上集会所前</li> <li>・伊藤医院前</li> <li>・駒野内を通過しながら農協前付近</li> <li>駒野駅前</li> <li>小川クリニック付近</li> <li>大垣共立前付近</li> <li>樋井戸入口付近</li> <li>ゆとりの森</li> </ul> <p>の停留所があればオンデマンドバスの効果が増すと考えます。</p>	<p>デマンド交通の乗降場所は、公共施設、医院、診療所、スーパー、金融機関等に設置し、その他に地域住民の方のご意見をいただいて設定します。</p>
21	<p>かわい整形外科</p>	<p>デマンド交通の乗降場所に設定します。</p>
22	<p>かわい整形外科</p>	
23	<p>かわい整形外科</p>	
24	<p>とみなり整形外科の前で止まる様に。</p>	
25	<p>とみなり整形外科を利用していますが、通院者の9割は高齢者で、自分で運転できない人も多く、バス停が遠くて困っています。ぜひともバス停の設置をお願いしたく提案させていただきます。</p>	
26	<p>とみなり整形外科に通っていますが、年を取ったので運転がむずかしくなってきました。ぜひともバス停を作って下さい。</p>	
27	<p>とみなり整形外科の前でバスを止めるようにしてください。</p>	
28	<p>とみなり整形前でバスが止まるように</p>	
29	<p>とみなりに通院していますが、バス停が遠くて不便です。ぜひお願いします。</p>	
30	<p>とみなり整形でバスが止まりますようお願いいたします。</p>	
31	<p>かわい整形外科</p>	
32	<p>かわい整形外科</p>	
33	<p>養老鉄道養老線の利用が増えるような計画をしてほしい。利用者が少なくなれば、養老線が廃止される可能性が出てきますので、美濃津屋駅からの路線バス、及び養老町内のオークワ、ナフコ方面へのオンデマンドバスの計画を考えてください。</p>	
34	<p>楽山・杜の会、および養南病院様をご利用になられる方で、海津町や平田町から来られる方のために、デマンドバスが低料金で利用できるようになると、大変助かります。ぜひご検討よろしくお願いたします。</p>	<p>養南病院はデマンド交通の乗降場所に設定します。</p>
35	<p>デマンドタクシー(バス)は集落へのヒヤリング等で得た情報等で、利用者の利便性を担保すべくできるだけ細やかにする。</p>	<p>乗降場所は、地域住民の方のご意見をいただいて設定します。</p>
②運賃について		
1	<p>利用料金も、現行の100円は無理としても、一律200円にしていきたい。地区社協では、法的な側面もあり、実費のガソリン代だけをいただいています。オンデマンドバスの運用開始により、地区社協利用会員のオンデマンドバスへの切り替え利用を期待しています。しかし、目的地が市内に限定され、料金も揖斐川を渡れば片道500円とすると、利用の切り替えは殆ど期待できず、何のためのオンデマンドバスかわかりません。是非とも、上記のご検討をお願いします。</p>	<p>デマンドはタクシーに近いサービスを提供することになりますので、その運賃は、コミュニティバス((仮称)海津羽島線等)よりもやや高く設定しています。</p>
2	<p>料金は、200～300円</p>	
③運行日について		
1	<p>デマンド運行の南濃エリアでの要望 ○運行日…平日だけでなく、土日でも運行してほしい。</p>	<p>当面は平日のみの運行とし、土日については、多くの利用が見込まれれば運行を検討します。</p>
④その他		
1	<p>1.デマンドタクシー(バス)は集落へのヒヤリング等で得た情報等で、利用者の利便性を担保すべくできるだけ細やかにする。 2.デマンドタクシーであれば、地元タクシー会社の暇な時間帯をデマンドタクシーとして借り上げる。 3.デマンドの場合、予約は前日までが基本であるが、当日でも30分～1時間前でも可能とする。(病院等帰りの予約時間が困難な場合もある)</p>	<p>ご提案は、運行後の利用状況等をみながら検討します。</p>
39		

## 2. 定時定路線に関する意見

①バス停について		
1	バス停の新增設 ①「石津南バス停」を、海津羽島線にも利用出来ること。 ②海津羽島線又は平田北回り線で、海津庁舎と西小島(北)の間に、「広徳寺前」又は、「円心寺」を新設すること。 ③その他	バス停の新增設については、地域住民の方のご意見をいただいて決定します。
2	市内病院以外、養老町の西美濃厚生病院へ多くの方が通院されていて、家族に送ってもらい、帰りはタクシーで帰るとか、遠慮して生きているとか色々あり、「西美濃厚生病院」までバスの延長路線を望めないかとお願いしました。やがて我が身にかかって来ます。今は車で出かけています。	バスを運行する区間は、利用者が多い幹線路線としています。 西美濃厚生病院へは、養老鉄道「駒野駅」で養老町のデマンドを利用し行くことができます。
3	高須の町は随分変わりました。昔の商店通りは、今は山ノ手西馬目当たりへと移り、生鮮館、スギ薬局、ミツワヤ、海津レストラン、セブンイレブン等、お店が軒並みです。コミュニティバスも昔の岐阜バス停から庁舎までの間の間隔が長く(例えば、新町～殿町の間は50mくらいしかありません)、この間に一区設けて頂ければ、それぞれのお店にも、お出掛けにも楽になるのではと思います。昼間の老人は、頼る家族は働きに行き、車も乗れず長歩きはきわめて困難です。 高齢者社会には、なかなか言いづらい事ばかりですが、なによりも頼りになるコミュニティバスだけが頼りですので、少しでも便利になれば、どんなに生活が楽しくなる事であろうと思います。私は83才になります。障がい者でもあります。 図書館前の停留所の再復活もお願いします。プールに行く人、文化祭は催されても足がなくては見に行けません。人の集まりそうな場所のコミュニティバス停の利用度が高くなるような場所、女・子供・老人に便利なご配慮を頂けますよう、コミュニティバス停をご検討下さいます様にお願ひ致します。	デマンド交通を乗り降りする場所は、現行のバス停よりも増やしますので、目的地に近い場所まで利用できるようになります。 図書館前は、デマンドの乗降場所に設定します。
4	美濃津屋駅や下多度地区の路線が実施案にない。下多度地区の住民を軽視した実施案であると思います。 養老鉄道養老線の利用が増えるような計画をしてほしい。利用者が少なくなれば、養老線が廃止される可能性が出てきますので、美濃津屋駅からの路線バス、及び養老町内のオークワ、ナフコ方面へのオンデマンドバスの計画を考えてください。	コミュニティバスは、利用者の多い区間の運行とし、その他の地域はデマンドに移行する計画です。 美濃津屋駅周辺の道路は狭いため、小型車両によるデマンド運行としています。
②運行ダイヤについて		
1	1.バスの発車時刻を分散させること。 ①時は、12時前後 ②場所は、医師会病院 ③路線、海津羽島線、平田北回り、海津東回り、海津西回り、に該当します。 2.通学時間帯以外は、小型バス化して、運行バスの頻度を多くする事	運行ダイヤは、現行の利用状況を踏まえて設定しています。運行後の利用状況をみながら、必要に応じて見直しをします。
2	1.通学、通勤にも利用できるよう、最終運行時間を現在よりも延長する。 2.運行時間の間隔を短くし、利用に便利にする。	ご意見・ご提案は、運行後の利用状況等をみながら検討します。
3	1.各バス路線を乗り継いでも病院、大型店舗、養老鉄道、新幹線等を便利に利用出来る様にする。(但、時間短縮) 1.他市町村への乗入・出を採用する。(他市町村との協力)	ご意見・ご提案は、運行後の利用状況等をみながら検討します。
③その他、利用促進等		
1	1.公共交通機関を便利に利用する事により、 (1)当市地域からの人口転出を防ぎ、又転入を増加させる。 (2)各施設を誘導できる。 (3)当市への観光客の誘致ができる。 2.他地方の利用方法を参考にする。	ご意見・ご提案は、運行後の利用状況等をみながら検討します。
2	海津市交通に関して、私見を少し述べさせていただきたく、今回メールをいたしました。少子高齢化、人口減少に伴い、従来の考えでは不便で非効率なものではダメだと思います。公共交通は、市民が継続的に安心してまた快適に暮らせるためにはなくてはならないものです。中長期的な視点で5年後10年後20年後を見据え、より良いものになることを期待しております。 「デマンドタクシー(バス)とコミュニティバス併用について」 1)現在のコミュニティバスの問題点、議題についてアセスメント 1.利用の目的 ①通勤 ②通学 ③病院等通院 ④買い物 ⑤観光 ⑥その他 2.利用者層 ①学生 ②サラリーマン ③高齢者 ④主婦 ⑤観光客 ⑥ビジネスマン ⑦その他 3.利用時間帯および曜日 ①利用率の高い時間および曜日 ②利用率の低い時間および曜日 4.路線 ①利用率の高い路線 ②利用率の低い路線  2)問題解決案 1.石津駅、ステーションカフェ等を開設し、待合時間を快適に過ごせるようにする。 2.利用者の多い通勤、通学時間のコミュニティバス増発。(路線の効率化)特に養老鉄道利用客の利便性が良くなれば養老鉄道利用者も増加が見込める。 3.各集落500mで行けるバス停留所(デマンドも含む)の確保。高齢者は長距離の歩行が困難。	今回の計画策定にあたっては、住民アンケート調査、バス利用実態調査、バス利用者及び養老鉄道利用者アンケート調査を行い、利用目的や利用者層、利用の多い時間や少ない時間及び路線を把握しています。 問題解決策についてのご提案は、運行後の利用状況等をみながら検討します。
9		

### 3. 意見、提案

①意見等		
1	海津東回線について。私達老人が医師会病院へ行く唯一の足なので、存続をお願い致します。	デマンド交通で医師会病院に行くことができますので、その利用をお願いします。
2	石津⇄羽島線を、桜ヶ丘⇄羽島線にする。 大型商業施設まで運行する。	ご意見・ご提案は、運行後の利用状況等をみながら検討します。
3	1.講習会、イベント等の開始時間に合わせてバスを運行する。車を運転しない者の参加増加を図る。 (例)イベント開始時 13:30 行きバス到着時 13:20 イベント終了時 16:00 帰りバス発車時 16:10 2.バスの運行時間に合わせて、市主催の講習会、イベント等の開催時間を調整して参加者、利用者を増加する。	イベント等との運行時間調整は、個別に実施主体等と行うようにしていきます。
4	1.乗り継ぎ時の待ち時間を短縮する。 2.養老線各駅での乗り継ぎを便利にして、養老線利用者の増加につなげる。	乗継時間については、できる限り短縮するようにします。
5	「パブリックコメントの実施に伴う意見等」 「海津市公共交通計画・海津市生活交通ネットワーク計画」の策定につき、下記のとおり提案等いたします。  1.現在運行されておりますコミュニティバス路線のうち、病院(海津市医師会病院、及び養南病院)を経由している路線については、今後も継続して運行されるよう要望いたします。 2.市内、及び養老町内の養老鉄道各駅を経由し、南濃町はもとより平田町、及び海津町方面からの運行を要望いたします。 3.2015年2月1日付第40号の海津市議会だよりにより質問されておられた、養老町、及び輪之内町との連携を一層強化します。具体的には、西美濃厚生病院を含め、大型店舗(パロー、オークワ、ビック等)への運行を行います。 4.養老町は、コミュニティバス路線を全廃止し、デマンド運行のみと聞いておりますが、利用状況等を踏まえ、必要な路線は引き続き継続します。 5.平成27年10月から、実施予定とのことですが、その時点が最終ではなく、今後、住民の意見等を踏まえ柔軟に対応することを提案します。  「私の所見」 養老町に続き、輪之内町がデマンド運行により住民サービスの向上に努められ、現時点では、海津市は遅れをとった状況になっていますが、焦ることなく、二町の実情等を十分調査したうえで、当市に最も適切な運行等を長期的な視野に立って策定することが大切であると考えます。この事業は、当市が合併して10年を経過しようとしておりますが、市役所の機能が海津庁舎へ統合されたこと等を総合的に勘案し、住民のニーズに答えるべく、一層努力することが各職員に課せられた使命であると考えます。 その結果、明るく住みよいまちづくり、地域の活性化につながると思慮されます。 【重要】 ※担当部署に任せるのではなく、職員が一市民になったつもりで、真剣に取り組む姿勢が大切であると考えます。 “他人事、対岸の火事としてとらえない！”	ご提案は、運行後の利用状況等をみながら検討します。 ご提案の5のとおり、平成27年10月を予定しているコミュニティバスの再編とデマンド交通の運行は、その時点が最終でなく、利用実態や住民の意見等を踏まえて、計画内容を修正し、より良いものにしていきます。 職員の心構えについてのご意見については、その通りと考えております。公共交通は、市民の日常生活の移動を確保するとともに、定住促進、まちづくりの支援にもつながる重要な施策ですので、住民のご意見を伺いつつ、利用しやすいものにしていきます。
6	説明会が平日の午後(昼)あった。参加者が少ない時間帯をねらった日程を組んだように思われます。せめて土日曜日に開催されたほうがよいと思います。	意見交換会の日時は、高齢者の方が参加しやすい時間帯として、昼間とし、土日開催した地区もあります。今後も、開催するときには、地元と調整の上、設定します。
7	オンデマンドバス及び路線バスの増設によって、結果的に養老線が廃止されることのないように計画して下さい。	養老鉄道は、運行を維持するよう位置づけています。
8	私は、以前からバス利用で学校に勤務し、又退職後はカルチャーセンターへ通うため朝夕利用しておりましたが、今では電車の発着に間に合わず家の者の送り迎えか、タクシーで駅まで行っております。(月に4~5回名古屋の会へ)年金生活のためタクシー代の3000円は大きく生活を詰めております。然し、バスも利用者がなく以前から申し訳なく、時折利用致しましても、運転手さんに「すみません」と言っている様なことです。益々高齢化社会になり、主人の送迎も出来なく一歩も出られなく認知症が心配です。安心してバス利用ができないものかと一人悩んでおり	コミュニティバスと養老鉄道との乗継時間については、できる限り短縮するようにします。今後、デマンド交通もご利用ください。
9	人口減少に歯止めをかけるためにも、公共交通機関の整備は必須だと思います。このままでは海津市は陸の孤島になってしまいます。名古屋までスムーズに行けるバスの設置と大垣市民病院直行バスの設置は、市民アンケートを見ても強い要望だと思います。市内に大きな市営駐車場・駐輪場を数カ所設置して、そこから養老線駅や名鉄線駅(羽島や一宮や津島など)までの運行や、大垣市民病院までの運行便を発着すれば利用者は増えると思います。すべて公共交通機関でまかなう！というのはこの田舎では無理です。日に数本しか無い小さなバス停よりも利便性のある大きなバス停が必要です。	市内のバス停周辺に車を駐車し、バスに乗り換えていく方法については、今後、検討していきます。 現状では、海津市役所で名阪近鉄バスに乗り換えて大垣市民病院まで行くことができます。

<p>10</p>	<p>海津市の主公共交通は、「養老鉄道」と「市営コミュニティバス」である。但し、運行状況、旅客人数等数値を勘案しても「公共交通網」と称するには恥ずかしいくらいの利用者数であり、且つ利用者は減少しても増加は見込めない状況にある。にも関わらず、海津市は養老鉄道には五千万円、コミュニティバスには一億円もの市税を毎年拠出し続けている。</p> <p>そこで、双方をリンクさせて少しでも市税の負担額を減らし、海津市が便利で住み良い市となるためのプランを一市民として提示したい。</p> <p>(1)現在の海津市公共交通</p> <p>先に述べたとおり、海津市の主公共交通は、「養老鉄道」と「市営コミュニティバス」である。但し、貴重な公共交通機関であるのに「リンク」されて運行しているとはとても言える状況ではない。何故か？</p> <p>それは別々の考え方によって運行状態が形成されており、「公共交通」「市民の足」としての認識に欠けているからである。</p> <p>・養老鉄道</p> <p>近隣市町村による組織で存続運動が行われているようではあるが、効果が上がっているとは言いがたい。組織側は現状維持で満足し、新しい案、画期的な案は全く出されておらず、海津市も事業審査を行う形式を取って協働事業等で助成金を拠出しているが、一般市民から見れば市職員のマスターベーション、つまり単なる税金の無駄遣いである。また、以前から公共交通機関役職員を交えた戦略的交会議が行われていたようであるが、議事録を見ても、「先ず海津市のプランありき」からスタートしており、着地点が決められて進められている会議、外部識者まで交える意味は全く無い。最も憂慮すべきことは、当の養老鉄道が近隣市町と連携して行動していない事。養老鉄道側からの具体的なプラン等の提示は全く無く、税金投入による鉄道維持が「当たり前」としているフシが多分に見受けられる。要は、官民共に万策尽きて、形式に流されているのが現状なのである。</p> <p>・市営コミュニティバス</p> <p>市民の移動手段として運営されており、営利目的ではないことから税金投入による運営は止む無きところではあるが、利用者に対して分かり易い、利用し易い運営をしているとは言いがたい。運行路線図を見れば明らかな通り、コミュニティバス主要拠点が「医師会病院」と「市役所」にあり、利用者にとって運行内容が分かり難く、先ず拠点まで行く交通手段を考えなくてはならない様に利用者に壁を作っているのが、現在の市営コミュニティバス。</p> <p>(2) (私案)理想とする海津市公共交通網</p> <p>ポイントは下記の2項目</p> <p>1.この駅に行けば、海津市のどこへでも行ける。</p> <p>コミュニティバスの主要拠点を養老鉄道の駅に置くことによって実現させる。また、初めて海津市を訪れる公共交通機関利用の観光客にとって、「海津市の玄関口」としての駅があり、「その駅へ行けば海津市内のどこへでも行ける(駅のHUB化)」交通網を構築することが、理想とする交通網構築の第一歩となると思料する。海津市民もコミュニティバスに乗れば、養老鉄道で桑名・大垣方面のどちらへでも行けるとなれば、利便性は向上し、利用者増も見込まれる。当然、核となる駅のホームにはコミュニティバス乗車スペースを設置。『電車を降りれば、同じホームからバスに乗れる』状態にする。実現には、当然、養老鉄道と近畿日本鉄道の協力は得られるものと前提している。</p> <p>2.海津市交通網を考えるに『橋』は避けられない。</p> <p>揖斐川・長良川を擁する海津市にとって、橋の存在は避けられない事実である。海津市全体の地形を勘案すると、中心とすべき橋を通り、東西に走っているのが、主要地方道津島南濃線。中心にある橋が福岡大橋となる。</p> <p>《東海大橋・市役所・福岡大橋・南濃庁舎・国道258号—養老》</p> <p>南北に走っているのは、主要地方道岐阜南濃線と県道木曾三川公園線・成戸平田線等。</p> <p>《木曾三川公園・医師会病院・市役所・平田庁舎・千代保稲荷・輪之内》</p> <p>上記2項目を前提に、養老鉄道とのリンクを考えると、最も理想的な位置にある駅が「駒野駅」。但し、場所的には理想であるが、HUB化を考えるに用地確保が必要。先ず考えなければならないのが、(株)ナイガイテキスタイルとの交渉。理解が得られれば、実現は可能と思慮する。理解が得られない場合には、駒野工業団地用地を利用して、海津玄関口駅(仮称)を新設して実現する。工場利用として近隣地権者の理解が得られていないが、環境に優しい駅で駅周辺を新月見の里とする道の駅として利用する等、環境面を全面に出して利用案を広く募集し、工場以外の利用を考えることが出来れば、自ずと道は開けてくる見込みがある筈。</p> <p>【追案】</p> <p>石津駅も地形を勘案すれば、駅ホームからのバス乗車が容易になる。海津市南部玄関口として、利便性を向上する意味からホーム乗車を実現する。</p>	<p>養老鉄道とコミュニティバスの接続については、鉄道事業者と協力して、強化していきます。</p> <p>石津駅については、バスが駅前に接続できるように、駅前広場の整備を行う予定です。</p> <p>養老鉄道は、運行を維持するよう位置づけています。今後もイベント列車の継続実施等、利用促進に努めていきます。</p> <p>コミュニティバスは市内移動の拠点間を結ぶ路線(定時定路線)と支線(デマンド型)に分け運行する計画です。</p> <p>定時定路線は、養老鉄道駒野駅、石津駅、名鉄新羽島駅・JR岐阜羽島駅、市役所、海津温泉、医師会病院、今尾の拠点を結ぶルートとします。</p> <p>市民や来訪者への周知を図るため、公共交通マップ(時刻表、ルート図等を掲載したもの)を作成し、市内に配布するとともに、駅等に配置します。</p> <p>ご提案を参考に、運行後の利用状況をみながら、必要に応じて修正を行ってまいります。</p>
<p>②海津市公共交通計画(案)の修正</p>		
<p>1</p>	<p>P6 「2 主要な公共施設の状況」 未来形で記載してあるが、現在形で記載してください。</p> <p>P10 「路線別車両台数と運行状況」 海津羽島線と海津町内3巡回線 車両を共通利用しているのでそのように記載してください。</p> <p>P11 「利用者数の推移」、P12「路線別利用者特性」、P19「費用負担」「路線別収支率」 いずれも25年度データが出せるはずですので差し替えはできませんか。</p> <p>P54 「基本方針3」、P56「基本方針②《目標指標》」</p> <p>JR岐阜羽島駅と名鉄新羽島駅は場所と利用客層が異なるので、併記してください。</p> <p>P63～65 市観光協会にも協力を仰ぐ必要があると思います。</p> <p>P65 「車体の外装デザインの工夫」 車体外への「市イメージキャラクター掲示」はできませんか。</p>	<p>ご意見をもとに修正します。</p>



③海津市生活交通ネットワーク計画(案)の修正

<p>P3「スクールバスの運行」 年度途中からだ、学校側の予算措置は大丈夫か。</p> <p>P5 (1)ルートに関わる主な意見③項目め 「2台が接続できるよう」ではなく「2本が連続できるよう」とし、「このため、」以下は記載不要。 【「接続」というのはA—B間のバスとC—D間のバスが共通して走る区間の停留所や、駅で電車とバス、同一場所で相互の乗換えが出来ることをいう。】</p> <p>P5 (2)実施案 ・①海津羽島線 「海津市役所～今尾～岐阜羽島間(始終発は石津まで運行)は・・・」とあるが、公共交通計画P54と本計画P2基本方針③にて「土休日には養老鉄道の石津駅や・・・」と記載してあり、齟齬がある。 ・②南幹線 「駅周辺の道路幅員が狭いこととガードの高さ制限があるため、小型車両での運行(朝はピストン運行で高校生の通学に対応)とし、」と記載しないと、大型車両が通れると読まれてしまうので P6～7 実施案 ・①海津羽島線 ア)「(始終発は石津駅まで)」とあるが、公共交通計画P54と本計画P2基本方針③にて「土休日には養老鉄道の石津駅や・・・」と記載してあり、また、公共交通計画P24にて「石津駅～お千代保稲荷5」とあることから、齟齬がある。 イ)平田方面の方が海津市医師会病院に行くには乗り換えしかないが、朝便はデマンド運行前時間帯のため、医師会病院へ行くように運行できないか。【海津市役所行きとして運用し、執着後に系統変更でも構わない】 ウ)公共交通計画P23にて「海津庁舎(市役所)→石津駅9」とあるが、これに対応する便を運行する予定はあるのか。</p> <p>・②お千代保稲荷線 ア)学校の長期休暇期間中の扱いはどうするのか。 イ)朝便で大須方面に乗った学生の、帰りの足はどうなっているのか？ ウ)「(朝便のみ・・・)」とあるが、車両の運用自体はこうするとしても、乗客には非常に分かりづらいので、この部分は系統を分けて南幹線に記載するとよい。</p> <p>・③南幹線 イベント期間中の木曾三川公園への運転方針は？チューリップ祭、ライトアップ等(138タワーパーク、なばなの里、伊勢神宮などの例がありますが・・・) 「(朝便のみ・・・)」と書いてあるが、ゆとりの森以東の住民の利用が困難であるので、うち1便はゆとりの森を通る城山支所発にできないか。</p> <p>P8 運行条件(2) 「海津羽島線(・・・)は年末年始の需要があるため」とあるが、臨時ダイヤを設定するなど増便されるのか。現状のように機械的に「土休日だから運休」では需要を逃さないか。</p> <p>P13(9)運行車両 「使用車両はワンボックス車両としますが、場合によりその他の車両となります。」と記載しないと、現行コミバス車両では入れないデマンド停留所が多くあるのでは不都合である。</p> <p>P15(11)運行条件のまとめ 海津羽島線 「(始終発は石津駅まで)」とあるが、公共交通計画P54と本計画P2基本方針③にて「土休日には養老鉄道の石津駅や・・・」と記載してあり、齟齬がある。</p> <p>P19～21 運行ダイヤ 【基本的に「朝は一挙集中、帰りは手広く」が公共交通ダイヤの基本である。また、平日ダイヤと土休日ダイヤの分けは必須。】 ・①海津羽島線 ア)現行ダイヤの羽島着7:10が同分着発、同9:00が1分差着発であり、「直近の名鉄電車に乗れないので不便」との声はもうないのか。 初便は7:10より前に着くダイヤにするとともに、石津駅の関係で間に合わないならば、今尾始発を増便する必要があるのではないか。現行の羽島9:00着は前後どちらかに調整が必要。 イ)現行羽島発が、直前の名鉄電車着(平日の夕方以降は岐阜からの直行)との乗り換えが朝以降は3分(朝1便は7:20が同分着発)しかなく、多客時のほか、高齢者や障がい者は間に合わない。(現状5分はかかる) ウ)現行羽島発19時台が削除されているが、交通計画(案)P13によると昼間帯程度の利用があるようなので、引き続き設定できないか。(乗車状況により区間運転可)</p>	<p>・P3「スクールバスの運行」 具体の対応策については、教育委員会と調整します。</p> <p>・P5(1) ご指摘の通り修正します。</p> <p>・P5(2)①海津羽島線 石津駅から海津市役所乗り換えでお千代保稲荷へいくことができるようにしています。</p> <p>・P5(2)②南幹線 ご指摘の通り修正します。</p> <p>・P6～7実施案 ①海津羽島線 ア)石津駅から海津市役所乗り換えでお千代保稲荷へいくことができるようにしています。 イ)海津市役所での乗り継ぎあるいは朝8時半からのデマンド利用を御願いたい。 ウ)(仮称)南幹線が対応します。</p> <p>②お千代保稲荷線 ア)学校の長期休暇中(夏休み等)は、利用者の見込みがないので、運休を検討します。 イ)18時台の便が大須から海津市役所方面に運行します。 ウ)計画書では駒野駅方面に運行することを記載していますが、運行ダイヤでは、(仮称)南幹線に記載します。</p> <p>③南幹線 現計画では、平日・土休日ともに1日2～3往復は木曾三川公園への運行を考えています。イベント開催時については、臨時便の運行などについて利用状況をみながら検討します。なお、木曾三川公園に運行する便は、始発を水晶の湯とし、ゆとりの森からも利用できるようになります。</p> <p>P8 運行条件(2) (仮称)海津羽島線は、年末年始のお千代保稲荷への需要が見込めるため、通常通りの運行としています。臨時便の運行などについては、利用状況をみながら検討します。</p> <p>P13(9)運行車両 ご指摘通り修正します。</p> <p>P15(11)運行条件のまとめ 石津駅から海津市役所乗り換えでお千代保稲荷へいくことができるようにしています。</p> <p>P19～21 運行ダイヤ ①海津羽島線 鉄道との接続に配慮して具体的な運行ダイヤを設定します。</p>
---	---

<p>・②お千代保稲荷線 ア)記載ダイヤでは歴史民俗資料館について「開館前と閉館後の時間帯で乗客が見込めない」のに、始終発にする必要があるのか。運行区間を「大須～西小藪～今尾～海津市役所」とするべきではないのか。 イ)そもそも、現行のダイヤ【大須での羽島市バス7:38着との接続の関係上変更できないと思われる】から駒野駅へ車両を回すとなると、本計画P5(2)に示してある「ピストン運行」にならないうえに、通学する生徒が遅刻するのではないか？ ウ)現行海津発16時台が2本とも削除されているが、市役所—今尾—大須のどの区間が多いのか。大須から来ている生徒は18時台でしか帰れないことになるが、それでよいのか。なお、学校行事等や気象の状況によっては臨時便を出せるのか？</p>	<p>②お千代保稲荷線 ア)朝の大須からの便は海津明誠高校への利用が主なので、馬目西方～海津明誠高校口～駒野駅に変更します。 イ)今後、運行ダイヤを検討します。 ウ)定時定路線の運行時刻と、利用できないときのデマンド利用について、今後検討します。</p>
<p>・③海津羽島線・お千代保稲荷線共通 ア)「今尾」バス停について、①同じ場所に輪之内町のバス停が乗入れしていること、②海津市現行の「今尾南」バス停が無くなることから、名阪近鉄の「今尾」バス停との誤乗を避けるため「コミバス今尾」に名称変更するべきではないか。 イ)現行海津羽島線の海津発17時台が削除されているが、この便の利用客(高校生?)を見越して輪之内町が今尾始発のバスを増発したと思われる。折角増発いただいているので、このバスに接続できるよう設定されたい。 P26～28 デマンド乗降場所 ア)天昇苑、治水神社前(木曾三川公園南口)、パークセンター、平田ふるさと会館、ゲンキー南濃店、南濃ドライブイン、美濃山崎駅、は必要とならないか。 イ)21の柳港、411の梶屋のコミバス停留所は堤防上であったが、駐車帯が無く非常に危険なので、デマンドの場合は堤防下の方が良い。</p>	<p>③海津羽島線・お千代保稲荷線共通 ア)「今尾」バス停 ・「コミバス今尾」へのバス停名称変更については、関係者と調整して決定していきます。 イ)今尾発の輪之内町コミバス17:44発への接続については、検討します。 P26～28 デマンド乗降場所 ア)地元の意見を踏まえて設定します。 イ)堤防下に設定します。</p>
<p>12</p>	